



三天使の使命

～伝えよ、永遠の福音～



永遠の福音

ヨハネが書いた書物の中で、「福音」という言葉が使われるのは、三天使の使命での一回だけです。なぜ、ヨハネは三天使の使命を「永遠の福音」と呼んだのでしょうか。



最初の罪と永遠の福音

アダムとエバが最初の罪を犯した直後に、人類救済プラン（永遠の福音）は与えられました（創世記 3:15）。

わたしは恨みをおく、
おまえと女とのあいだに、
おまえのすえと女のすえとの間に。
彼はおまえのかしらを砕き、
おまえは彼のかかとを砕くであろう。

永遠の福音が与えるもの

→ 「主キリスト・イエスにおける永遠のいのち」
（ローマ 6:23 後半）

永遠の福音が教える義務と責任

すべての人を救う神の恵みが現れた。そして、わたしたちを導き、不信心とこの世の情欲とを捨てて、慎み深く、正しく、信心深くこの世で生活し、祝福に満ちた望み、すなわち、大いなる神、わたしたちの救主キリスト・イエスの栄光の出現を待ち望むようにと、教えている。
（テトス 2:11-13）

永遠の福音の2つのポイント

1. 完璧な小羊が与えられる（女のすえ）
 - 他のものには罪を取り除くことはできません（ヘブル 10:4）
 - イエス様は罪を犯しませんでした（ヘブル 4:15）
2. 罪を犯さない小羊の死が必要
 - イエス様は罪を犯さずに十字架にかかって死なれました（第一ペテロ 1:18-19）。

この2つのポイントは、イエス様が罪のない人生を送られ、また罪の支払う報酬である死を受けられる必要があったことを示しています（創世記 2:17；ローマ 6:23）。

あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。決して行いによるのではない。それは、だれも誇るがないためなのである。わたしたちは神の作品であって、良い行いをするように、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、良い行いをして日を過ごすようにと、あらかじめ備えて下さったのである。（エペソ 2:8-10）

福音を伝える

三天使の使命は、「永遠の福音をたずさえてきて、大声で言った」という言葉で始まります。私たちは、この「永遠の福音」を伝える必要があるのです。

*** 人類救済プラン（永遠の福音）は、人間が罪を犯したために作られたプランではありませんでした。この計画は、地球が創造される前にすでにたてられていたのです。（第一ペテロ 1:18-20）

三天使の使命について知っておきたい7つのこと

① 三天使の使命は、“愛のメッセージ”です

黙示録、そして聖書の中心メッセージは、イエス様がわたしたちのことを不変の愛ですべての人を愛してくださっていることです(ヨハネ3:16)。三天使の使命に緊迫感があるのは、世の終わりの前の最後通告だからです。“一人でも多くの人を救いたい！”イエス様のその気持ちを忘れないようにしましょう。

② 三天使の使命を全世界に宣べ伝えるのは私たち人間です

- 天使はギリシャ語で「メッセンジャー」
 - ▶ 天使(メッセンジャー)と呼ばれた人たち(一部抜粋)
 - ◇ バプテスマのヨハネ(マタイ11:10)
 - ◇ ヨハネの使い(ルカ7:24)
 - ◇ ステパノ(使徒6:15)
- 天からのメッセージはどのようにして伝わる？
 - ▶ 神→キリスト→天使→人間(黙1:1-4)
 - ▶ イエス様は、福音を全世界に伝えよと私たちに命じられた(マタイ28:18-20)

③ 三天使の使命は正しい順序(第一、第二、第三)で伝えられなくてはなりません

**順番を変えて伝えると、伝えたいメッセージが伝わりません

第一天使の使命：悔い改めと本当の安息日を守るようにとの命令

第二天使の使命：通告と招き

第三天使の使命：招きに応じない者への最後の警告

バビロンは、第一天使の使命を受け入れないために倒れます。しかし、バビロンの中の人々は、そこから離れ去る(黙18:4)必要があることを知らなかったら、離れ去ることはないでしょう。

④ 三天使の使命は、“恩恵期間の終了”前の最後通告です

- 三天使の使命の直後に書かれていること：恩恵期間の終了(黙14:14-20)
- オリーブ山でのイエス様のメッセージ：「御国の福音は…全世界に宣べ伝えられるであろう。そしてそれから最後が来るのである。」(マタイ24:14)

恩恵期間の終了とは、天の至聖所での、私たちの罪に対するイエス様の執り成しが終わるとき、それはつまり再臨が目前に迫っていることを示します。

⑤ 三天使の使命(愛のメッセージ)を受け入れるかどうかは“生きるか死ぬか”の問題です

- 三天使の使命を受け入れる → 神の印を受ける
 - 三天使の使命を受け入れない → 獣の刻印を受ける
- 私たちは、このメッセージを受け入れるか、受け入れないかを今決める必要があります(マタイ25:32-46；エゼキエル9章)。
- *詳しくはプリント「神の印と獣の刻印」参照

⑥ 三天使の使命(愛のメッセージ)を受け入れ、宣べ伝える人たちがいることが聖書には書かれています！

- 「獣とその像とその名の数字とにうち勝った人々」が神様を賛美するシーン、それは三天使の使命の歌なのです！(黙15:2-4；7章；14:1-5)

⑦ 三天使の使命を聞いて、決める必要がある2つのこと

- 創造主の礼拝 → Yes or No
- 十戒への服従 → Yes or No



第一天使の使命

わたしは、もうひとりの御使が中空を飛ぶのを見た。

彼は地に住む者、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族に
宣べ伝えるために、永遠の福音をたずさえてきて、大声で言った、

「神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。
天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め。」

ヨハネの黙示録 14章6－7節

第一天使の使命



中空：

天から（神様から）のメッセージ

天からのメッセージ = 神様から（ヤコブ 3:17）
地上からのメッセージ = サタンから（ヤコブ 3:13-15; 黙 9:11; 13:1; 13:11）

飛ぶ：

いなずまのようなスピード

天使が空を飛ぶときのスピードは「いなずまのひらめきの
ように速」いです（エゼキエル 1:13,14）。三天使の使命は
いなずまのようなスピードで伝えられる必要があります。

わたしは、もうひとりの御使が**中空**を**飛ぶ**のを見た。

彼は**地に住む者、すなわち、あらゆる国民、部族、国語、民族**に

宣べ伝えるために、**永遠の福音**をたずさえてきて、**大声**で言った、

地に住む者、あらゆる国民、部族、国語、民族：
すべての人

三天使の使命は、すべての人に宣べ伝えられなくてははいけません（マタイ 24:14; マルコ 16:15,16）。なぜなら、神様はすべての人を愛しているからです（ヨハネ 3:16）。

永遠の福音：

- すべて信じる者に、救を得させる神の力
- 神の義が啓示されている
（ローマ 1:16,17; 第一コリント 15:2）
*詳しくは1ページ目を参照

大声：

力と権威

- ギリシャ語：MEGALE PHONE
➤ メガホン！
このメッセージは、「声をラッパのようにあげ」て伝えられる必要があります（イザヤ 58:1,2）。



第一天使の使命

神をおそれ、神に栄光を帰せよ。神のさばきの時がきたからである。

天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め。

① 神をおそれ：

神様をおそれることは、怖がることではありません。「神をおそれ」とは深い尊敬の念を持って創造主を礼拝することです。

～おそれることとは～

- 深い尊敬 (レビ記 19:3)
- 知恵のもと (箴言 9:10)
- 親密さの表れ (申命記 13:4)
- 信頼すること (詩編 115:11)
- 悪を憎むこと (箴言 8:13)
- 十戒に従うこと (申命記 4:10-13; 8:6; 伝道の書 12:13)

* 神様のことをおそれる心は、神様自身が私たちの心に置いてくださいます (エレミヤ 32:40)

③ 神のさばきの時がきたからである：

1844年10月22日、聖所は清められ、さばき (調査審判) が始まりました (ダニエル章 8:14; 9:24-27)。

* 詳しくはプリント「黙示録と聖所」参照

～私たちの罪をさばくもの～

- 神様の律法 (十戒) (ヤコブ 2:12)
 - 人はみな罪人 = 死ななくてはいけない (ローマ 6:23)

～私たちの罪を執り成すもの～

- 罪を取り除く小羊 (ヨハネ 1:29)

～さばきの報酬を受けるとき～

- 再臨 (マタイ 16:27; 黙示録 22:12)

② 神に栄光を帰せよ：

前提：私たちに、帰する栄光はありません (ローマ 3:23)

～栄光はどこに見出せるのか～

- イエス様ご自身 (黙示録 18:1)
 - 創造物 (詩編 19:1)、救い (詩編 79:9)、奇跡 (ヨハネ 2:11; 11:40)

「神様に栄光を帰する」とはイエス様の栄光を鏡のように映し出すことです。

栄光(光)の源 = イエス様 (ヨハネ 8:12)
世の光 = 私たち (マタイ 5:14)

～栄光を帰するには～

- ✧ 悔い改める (黙示録 16:9)
- ✧ イエス様に繋がって、実を結ぶ (ヨハネ 15:1-11)
- ✧ 体を大切に (第一コリント 6:19,20,31)

④ 天と地と海と水の源とを造られたかたを、伏し拝め

創造主を礼拝する = 7日目の安息日を定められた方

～創造主～

- イエス様 (コロサイ 1:15-17; 黙示録 4:11; ヘブル 1:1-2 他)

鍵：十戒第4条 = 安息日に創造主で贖い主である方を礼拝する (出エジプト記 20:8-11; 申命記 5:12-15)

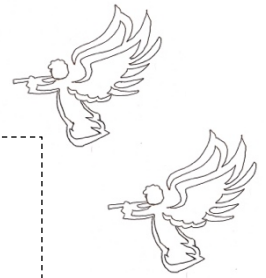


第二天使の使命

また、ほかの第二の御使が、続いてきて言った、
「倒れた、大いなるバビロンは倒れた。
その不品行に対する激しい怒りのぶどう酒を、
あらゆる国民に飲ませた者」。

ヨハネの黙示録 14章8節

大いなるバビロン



バベルの塔（創世記 11:1-9）

旧約時代のバベルの塔の建設者達

- 「地を滅ぼす洪水は、再び起こらない」と言う神様との契約を信じない（創世記 9:11-17）
 - その結果、自分たちのやり方が、天への道だと考える（創世記 11:3-4）

現代のバベルの塔の建設者達

- 無神論者
- キリスト教の中でも、耳に優しく聞こえることを語る人々
 - 例：“すべての罪人は救われる”“十戒は廃止された”

➔互いに混じることのない考えや教派による混乱 = バビロン

結婚と姦淫

神様とイスラエルの民の結婚（エゼキエル 16:8）

- 異教との姦淫を行ったイスラエルの民（エゼキエル 16:15）
 - 聖所と安息日を汚した（エゼキエル 23:38-39）
 - 神の怒りの杯を飲む（エゼキエル 23:32-34）

イエス様と教会の結婚（エペソ 5:25-27；第二コリント 11:2）

- 異教との姦淫(背教)を行った教会（第二テサロニケ 2:3-4）
 - 時（安息日）と法（十戒）を変える（ダニエル書 7:25）

淫婦の名前 = バビロン（黙示録 17:5）

色にみる大淫婦

祭司の衣（出エジプト記 28:5,6）

- 金、青、紫、赤

淫婦の衣（黙示録 17:4）

- 紫と赤

青 = 神様の戒め（民数記 15:38-39）。

金 = イエス様（黙示録 1:20 他）

ノアの洪水の後、ちょうどバベルの塔の時代に、ニムロデと呼ばれる世の権力者となった最初の人がありました（創世記 10:8-10；歴代志上 1:10）。ニムロデには、セミラミスという妻がいました（アルテミス：使徒行伝 19:35）。ニムロデの死後に彼女は、ニムロデは死んだのではなく太陽になった、と言い人々に太陽を拝ませました。また、彼女は“奇跡的”に身ごもったと言いました。そしてその子の名前を、タンムズと名付けました（エゼキエル 8:14）。後に人々は、このタンムズは12月25日の日曜日に生まれ、その日をバビロニアの大安息日だと制定しました。このようにして、太陽礼拝（日曜礼拝）は始まったのです（エゼキエル書 8:16）。

第二天使の使命



大いなるバビロン：

- 神様によらず、間違った考えを教えるキリスト教
- 無神論
- *詳しくは「大いなるバビロン」参照（7ページ）

倒れた：

- なぜバビロンは倒れた？
- 「第一天使の使命」を受け入れず、酔い、ぶどう酒を人々に飲ませたため（エレミヤ書 51:7; 黙示録 17:2,4）

また、ほかの第二の御使が、続いてきて言った、

「倒れた、**大いなるバビロン**は**倒れた**。

その**不品行に対する激しい怒りのぶどう酒**を、

あらゆる国民に飲ませた者。

不品行：

- 間違った教えを信じて・教える

鍵：安息日と十戒（ダニエル書 7:25）

*詳しくは「大いなるバビロン(結婚と姦淫)」参照（7ページ）

あらゆる国民に飲ませた：

黙示録 17:2; エレミヤ書 51:7

不品行に対する激しい怒りのぶどう酒：

- 神様の嫌われること
- 偶像礼拝（申命記 7:25,26）
- 魔術や占い（申命記 18:9-12）
- 行いによって救われると信じること（ルカ 16:15）
- 姦淫（エレミヤ書 13:26-27）
- 汚れた食べ物（申命記 14:3）
- 安息日以外を聖なる日とすること（エゼキエル書 8:16,17）
- その他（例：箴言 6:16-19）



第三天使の使命

ほかの第三の御使が彼らに続いてきて、大声で言った、

「おおよそ獣とその像とを拝み、額や手に刻印を受ける者は、神の怒りの杯に混ぜものなしに盛られた、神の激しい怒りのぶどう酒を飲み、聖なる御使たちと小羊との前で、火と硫黄とで苦しめられる。その苦しみの煙は世々限りなく立ちのぼり、そして、獣とその像とを拝む者、また、だれでもその名の刻印を受けている者は、昼も夜も休みが得られない。ここに、神の戒めを守り、イエスを信じる信仰を持ちつづける聖徒の忍耐がある」。

ヨハネの黙示録 14章 9 – 12節

第三天使の使命

第三天使の使命を学ぶことは本当に重要ですか？

質問：預言の勉強は神学者達だけに任せておいて、私たちはイエス様の愛だけを勉強すればいいのではないのでしょうか？

答え：第三天使の使命は、聖書全体の中での最も厳粛な警告です。もし、獣が何かを知らなかったら、獣の像が何かわからなかったら、そして獣の刻印とその数字が示す意味を知らなかったら、気づかないうちに獣について行くことになるでしょう。

神の怒り

“神の怒り”はいつ始まるのか？

→ 最後の七つの災害のとき（黙示録 15:1）

“神の怒り”はどこにあるのか？

→ 七つの鉢の中（杯）（黙示録 16:1）

“神の怒りの杯”は何と関係しているのか？

→ 火（詩編 11:6; 申命記 32:22）

“神の怒り杯”を飲む結果

→ 第二の死（黙示録 20:7-9,14-15）



イエス様と神の怒りの杯

神の怒りの杯をすでに飲まれた方 → イエス様

◇ イエス様は、杯を過ぎ去らせてくださるように3回祈られました（マタイ 26:39,42,44）

➢ 「わが父よ、もしできることでしたらどうか、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしの思いのままにではなく、みこころのままになさって下さい」。

怒りの杯をイエス様に与えた方 → 父なる神様（ヨハネ 18:11）

なぜ、杯を過ぎ去らせて欲しかったのか？

◇ 父なる神様と常に一緒にいたいから（ヨハネ 8:29）

◇ 杯を飲む = 父なる神様と離れる（マタイ 27:46）

パウロはこう言いました。「キリストは、その肉の生活の時には、激しい叫びと涙とをもって、ご自分を死から救う力のあるかたに、祈と願いとをささげ、そして、その深い信仰のゆえに聞きいれたたのである」（ヘブル 5:7）。杯は過ぎ去りませんでした。しかし、イエス様は、自分の思い通りではなく“父なる神様のみこころのままに”なるように、と祈られました。だから、イエス様の祈りは聞きいれたたのです。

すでに飲まれている杯

「罪の支払う報酬は死」です（ローマ 6:23）。この負債を支払うには2つの方法しかありません。

1. イエス様に支払っていただく = 十字架（ローマ 6:23 後半; ヨハネ 3:16; ガラテヤ 3:13）
2. 自分で支払う = 第二の死（黙示録 20:14,15）

第三天使の使命



大声：

力と権威

- グリシャ語：MEGALE PHONE
 - メガホン！

切迫感を感じさせる「大声」は、第三天使の使命が、招きに応じない者への最後の警告であることを示しています。

ほかの第三の御使が彼らに続いてきて、**大声**で言った、

「おおよそ**獣とその像とを拝み、額や手に刻印を受ける者**は、

神の怒りの杯に混ぜものなしに盛られた、

神の激しい怒りのぶどう酒を飲み、…

神の激しい怒りのぶどう酒：

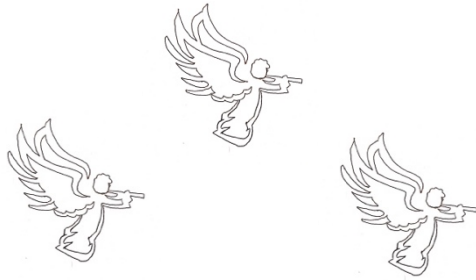
- 神の激しい怒りのぶどう酒を飲む結果
 - 第二の死
- *詳しくは本紙10ページ参照

「**獣とその像とを拝み、額や手に刻印を受ける者**：

- 獣 = ローマ教皇権
- 獣の像 = 政治と宗教の一体化（政教一致）
- 額 = 考え
- 手 = 行い
- 獣の刻印 = 獣の名（666）

*詳しくは「地からの獣」、「海からの獣」、「神の印と獣の刻印」資料参照

第三天使の使命



火と硫黄：

- 天からの火（創世記 19:24,28; ユダ 7)
- 焼き尽くして廃にする（第二ペテロ 2:6）
 - ◇ 神様自身が焼き尽くす火（申命記 4:23-24; ヘブル 12:28-29)
- 神様の栄光（出エジプト記 24:17)
- 火のまじったガラスの海（黙示録 15:2)
- 神に逆らう人々を焼き尽くす（黙示録 20:9; マラキ 4:1)
- 第二の死をもたらすもの（黙示録 21:8)
- 正しい者は焼き尽くす火の中を生きる（イザヤ 33:14-15)

聖なる御使たちと小羊との前で、**火と硫黄**とで苦しめられる。

その**苦しみの煙は世々限りなく立ちのぼり、**

そして、獣とその像とを拝む者、

また、だれでもその名の刻印を受けている者は、

昼も夜も休みが得られない…

神の栄光の光は、義人にはいのちを与えるが、悪人を滅ぼすのである。（各時代の希望 p.716）

鍵：火と硫黄は永遠なのか？（黙示録 14:10-11; 黙示録 20:10; イザヤ 34:9-10）

- サタンと神に逆らう人々を焼き尽くす（エゼキエル 28:18-19; マラキ 4:1; 黙示録 20:9)
- 焼き尽くした後、「すべてのものを新たに作る」（黙示録 21:3-5)

答え：火と硫黄が永遠なのではなく、第二の死という「結果が永遠」

第三天使の使命

神の戒めを守り（黙示録 12:17; 14:12, 22:14）：

➤ 十戒を守ること

～罪とは～

➤ 十戒を守らないこと（第一ヨハネ 3:4）

～イエス様と十戒～

➤ イエス様を愛しているのなら、十戒を守るべき
（ヨハネ 14:15; 15:10; 第一ヨハネ 5:3）

…彼は時と律法とを変え
ようと望む…

（ダニエル書 7:25）

聖徒の忍耐（黙示録 14:12; 13:10）：

忍耐（ギリシャ語）➔ “忍耐強く、全力を尽くして、屈辱や孤独に負けずに耐え忍ぶこと”

～何を忍耐するのか？～

➔ かつてなかったほどの悩みの時（time of trouble）

✓ 耐え忍んだ人々（

➤ ヨブ

➤ ダニエルの三人の友達（ダニエル書 3章）

➤ カナンの女（マタイ 15:22-28）

ここに、**神の戒めを守り、**

イエスを信じる信仰を持ち続ける**聖徒の忍耐**がある。

イエスを信じる信仰：

◇ ギリシャ語の解釈

➤ イエスを信じる信仰（エペソ 2:8-9）

➤ イエスの信仰（マタイ 26:39）

✓ ギリシャ語の文法ではどちらの解釈も可能です。聖書、そして三天使の使命には、信仰と行いの完璧なバランスを見ることができます。



おわりに



パウロは言いました、

「あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、**信仰**によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることがないためなのである。わたしたちは神の作品であって、**良い行いをするように**、キリスト・イエスにあって造られたのである。神は、わたしたちが、**良い行いをして日を過ごすようにと**、あらかじめ備えて下さったのである。」（エペソ 2:8-10）

また、ヤコブは言いました、

「**靈魂のないからだ**が死んだものであると同様に、**行いのない信仰**も死んだものなのである。」（ヤコブ 2:14-26）

パウロは“私たちはどのように救われるか”を教え、ヤコブは“真に救われた者はどのような生きるか”を教えています。パウロの教えは救いの根っこで、ヤコブの教えは救いの実です。イエス様は言われました、

「神はそのひとり子を賜ったほどに、この世を愛して下さった。それは**御子を信じる者がひとりも滅びないで**、永遠の命を得るためである。」（ヨハネ 3:16）

「わたしは、**あなたのわざ**を知っている。」（黙示録 3:15）

信仰と行いの完璧なバランスはどこにあるのでしょうか。それは三天使の使命、そしてイエス様の証である聖書の中に見つけることができます。イエス様がくださった、永遠の命に関わるこの永遠の福音を、私たちは伝えていきたいと思えます。

あなたがたは、世の光である。山の上にある町は隠れることができない。マタイ 5:15

おしまい